

議会だより

うちこ

vol. 58

令和8年8月
発行



議会改革特別委員会設置

P3

6月定例会

P2

P4

常任委員会

P4

~

P5

一般質問(7名)

P6

~

P13

QRコードで議会をもっと身近に

P15

【熱中症対策にキュウリはいかが?】

モデル：4世代の大家族 宮岡さん一家



6月定例会

第155回定例会が
6月3日から16日までの
14日間の会期で開催されました。

- 3日 町長招集挨拶及び行政報告
議案提案
特別委員会の設置
●報告8件
●専決処分3件
●条例の一部改正3件
●補正予算2件
一般質問(2議員)
議会広報常任委員会
一般質問(5議員)
総務文教常任委員会
産業建設厚生常任委員会
予算決算常任委員会
全員協議会
議会運営委員会
各委員長から審査報告
議案提案
●物品購入契約1件
●工事請負契約2件
議決(8件)
- 4日
- 8日
- 9日
- 16日

議会改革特別委員会を 設置しました！

なるほど！
みんなが分かりやすい
議会にしたいな

Q 議会改革特別委員会って 何をするとところなの

A 議会の運営方法やルールを見直し、
より開かれた分かりやすい議会づくり
を進めるために調査・検討を行う委員
会です。

今回の委員会では、何を調査・検討するの？

主に次のことをメインに調査・検討します。

1 町長選挙と 町議選挙の同日選挙



2 こども議会・ 女性議会等の検討



3 その他、議会改革等 に関すること



これらのテーマについて協議を重ね、より身近で開かれた議会を目指します。

委員紹介



委員長
くろき ましひろ
久保 美博



副委員長
まつだ おさむ
松田 修



委員
しもだ やすひこ
下野 安彦



委員
むかい ひとみ
向井 一富



委員
かとう ましひろ
城戸 司



委員
さくurai しんや
酒井 勝也

町民のみなさんの声を大切に、より信頼される議会づくりを進めていきます。

「議会だより」では全会一致で可決された議案などを抜粋して掲載します。

【議案】 報告・専決処分・追加議案以外の議案は各委員会に付託され、審査及び採決後、最終日に議決されま
した。委員会での審査内容は4～5ページに掲載しています。

◆全会一致で受理・承認・可決された議案

付託先 (総)総務文教常任委員会
(産)産業建設厚生常任委員会
(予)予算決算常任委員会

委員会設置

◎議会改革特別委員会の設置 3ページ

報告

◎令和7年度内子町一般会計繰越明許費繰越計算 ほか7件

議 認

◎内子町税条例一部改正の専決処分 ほか2件

条例の改正

◎内子町立公民館利用条例の一部改正 (総) 4ページ
◎内子町附属機関設置条例の一部改正 (総) 4ページ
◎内子町企業誘致条例の一部改正 (産) 4ページ

補正予算

◎令和8年度内子町一般会計補正予算(第1号) (予) 5ページ
◎令和8年度内子町介護保険事業特別会計補正予算(第1号) (予) 5ページ

契 約

◎第6号 連続炊飯システム購入に係る物品購入契約
◎第28号 小田自治センター空調設備改修工事(2期)に係る工事請負契約
◎第29号 東沖自治会館新築工事(建築主体工事)に係る工事請負契約

全議案
全会一致
可決

6月14日追加議案

物品購入契約

◎第6号 連続炊飯システム購入に係る物品購入 1540万円



現在使用している内子学校給食センターの連続炊飯システム

工事請負契約

◎第28号 小田自治センター空調設備改修工事（2期） 9295万円

◎第29号 東沖自治会館新築工事（建築主体工事） 9361万円

予算決算常任委員会

◎令和8年度内子町一般会計補正予算（第1号）

観光事業の活性化、教育への支援、商工業の活性化、魅力ある風景や生活の基盤整備に対する予算

高速道路4車線化に伴う光ファイバーケーブル移設費 198万円

問 高速道路4車線化に伴う移設費をなぜ町が負担するのか。
また、四国電力・NTTとの費用分担は。

答 企画情報課
ネクスコを含む関係機関との事前協議と道路占用条件に基づき、町の光ケーブルは町負担、各社設備は各社負担となる。

企業誘致促進奨励金 3000万円

問 新設企業への固定資産税免除の期間や総額などの条件は。
また、終了後は業績に関わらず適切に課税されるのか。

総務文教常任委員会

内子町立公民館利用条例一部改正

「新大瀬自治センター」の整備に伴う利用料等の改定



新大瀬自治センターの一部として米蔵も使用される

問 町外利用者は、利用料を50%加算する規定があるが、1人でも町外の人が含まれていた場合、加算対象となるのか。

答 自治・学習課
人数は関係なく、利用目的により判断しており、「地域のための活動であれば」加算はしない。

答 町並・地域振興課

制度にのっとり、5年間の固定資産税免除、総額1億円以内が条件である。6年目以降は通常どおりの取扱いとなる。

消防団員の夜間・雨天時活動用高視認性カップ購入 231万円

問 今年度150着を購入するが、残りの必要数や購入時期は。

答 総務課
消防団員約700名に対し、残り550着が必要。来年度当初予算に計上し、早急に整備する。

防災・学校行事の安全対策として気象予測システム導入 44万円

問 局地的豪雨時、本システムでピンポイントに状況を把握し、気象庁発表とは別に町独自で避難指示を出せるのか。

答 総務課
本システムは民間企業独自のデータ解析によるため防災業務の

問 地域のつながりを守るため、住民の立場に立った運営を。

答 自治・学習課
今後とも地域に愛される自治センターとなるよう、柔軟な運用に努めていく。

内子町附属機関設置条例一部改正

「内子町内遺跡調査指導委員会」および「内子町文化財保存活用地域計画協議会」を設置

問 新設される2つの組織は、それぞれどのような役割をもち、どのような関係性なのか。

答 自治・学習課
「遺跡調査指導委員会」は、埋蔵文化財に特化し、専門的な見地から調査の審議を行う組織である。「地域計画協議会」は、遺跡だけではなく町内すべての文化財を網羅し、景観法や歴史的風致維持向上計画など、町の他の計画・法令との整合性を図りながら全体の保存活用を調整する組織である。

参考とし、避難指示は従来どおり気象庁の警報に基づき判断する。



防災、イベント運営に総合気象GISプラットフォーム「Amatellus」を利用

学校施設トイレ改修工事 6639万円

問 近い将来の統廃合を見据え、経費抑制や投資効率を踏まえた環境整備を計画しているのか。

答 学校教育課
統廃合について計画はあるものの、まだ決定ではない。現在通学する児童・生徒のため、環境整備は重要である。また、施設の将来的な跡地利用を見据えた整備は、効果が期待できると考える。



伊予遍路道下坂場峠の発掘調査

産業建設厚生常任委員会

内子町企業誘致条例一部改正

内子町企業誘致審議会の委員構成および対象産業の種別等の見直し

問 執行機関と議決機関の分立の観点から、他の審議会では議員は除外されたはずだが、本審議会に規定が残った経緯と改正理由は。

答 町並・地域振興課
過去の見直しで本審議会の規定が残っていたため、直近の審議会が判明したことを機に、権限の独立性の原則に基づき改正した。

両委員会での採決は、

可決

◎令和8年度内子町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

介護認定審査会のペーパーレス化関連経費 175万円

問 審査会のペーパーレス化に伴う機器等導入に関し、費用対効果や費用の削減見込みについて、どのような検証を行ったのか。

答 保健福祉課
印刷や製本、廃棄処分費用を算出し、ペーパーレス化により、月あたり約2万5000円の削減が見込める。



議会でもペーパーレス化を進めています。

委員会での採決は、

可決

町政を問う！

内子町ホームページ
「議会事務局」



内子町議会
インターネット配信



【質問通告書内容】

森永 和夫 議員	●不登校児童生徒に対する対応	●メンタルヘルス対策	7ページ
酒井 勝也 議員	●財政調整金、各種基金のインフレ下の対応策	●公共施設への再エネ導入による経費削減と防災強化	8ページ
松田 修 議員	●防犯カメラ	●一次産業対策	9ページ
久保 美博 議員	●ワクチン接種で防げる病気	●町内小中学校における防犯カメラ設置	10ページ
城戸 司 議員	●町立幼稚園、小・中学校等の再編計画	●物価高騰対策	11ページ
下野 安彦 議員	●棚田の保全	●町民や子どもを守る防犯カメラ設置	12ページ
山本 徹 議員	●里山のくらしを守る飲用水や生活用水	●笑顔の街づくり	13ページ



当記事では「一般質問」の質疑内容について、誌面スペースの都合上一部抜粋となっています。各議員の質問項目については《質問通告書の内容》のとおりです。
議会での質問並びに答弁の全文を知りたい方は、下記内子町ホームページ「内子町議会」〔会議録〕もしくは「インターネット配信」にて録画映像配信を行っておりますのでこのページをご覧ください。
*会議録のホームページ掲載は「議会だより うちこ」発行から約2ヶ月後となります。ご了承ください。
<https://www.town.uchiko.ehime.jp/soshiki/16/>

子どもたちが安心して過ごせる体制づくりを！



もりなが かずお 議員
森永 和夫 議員

【不登校児童生徒の現状】

問 不登校児童生徒が増加傾向にある状況を、教育委員会としてどう分析しているのか。また、これまでの具体的な対応は。

答 令和5年度末34人、令和6年度末51人、令和7年度末46人と、不登校児童生徒数は増加傾向にある。要因は対人関係や学習の悩みなど多様化している。教室に入れない児童生徒には保健室や空き教室で居場所を確保し、登校できない児童生徒には家庭や「ふれあいルーム」、スクールカウンセラーと連携して支援している。

問 「COCOLOプラン」に沿った対応となるのか。

答 それに沿って対応している。

COCOLOプラン
誰一人取り残さない学びの実現を目指す、不登校児童生徒の様々な学びの場や居場所づくりを進める文部科学省の施策。

問 校内教育支援センターは設置しているのか。

答 設置していないが、各校で空き教室等を活用し、見守りを含め実質的に運営している。

【ふれあいルーム】

問 内子の教育支援センター「ふれあいルーム」は、これまで学校復帰を前提としてきたのか。また、「COCOLOプラン」に沿って、不登校児童生徒の「多様な学びの場」と位置付けているのか。

答 これまでは学校復帰支援を目的の一つとしてきたが、実際は学校復帰だけを目標とせず、個別支援や体験活動を通じて社会的自立を目指した支援を行っている。



【職員のメンタル不調】

問 メンタルヘルス不調による休職者の現状をどう分析しているのか。また、今後の対策は。

答 本町のメンタル不調による休職者は、平成28年度の4人から令和7年度には10人となり、全体の4%を占め全国平均を上回っている。令和8年5月現在では7人が休職中で、若年層が多い傾向にある。

る。保健室の設置や外部専門家による研修・相談会を通じ、職場環境づくりに取り組んでいく。

問 メンタル不調で休職した職員は、民間でいう労災にあたる公務災害の認定を受けているのか。

答 公務災害の認定は受けていない。1件申請がある。

問 厚労省の指針や、総務省の通知が求めている「心の健康づくり計画」は策定されているのか。

答 計画策定の準備を進めており、今年度中に策定したい。

職員の皆さんが町のため、町民のため、公務員としての職責を十分に果たせる明るい職場づくりをお願いし、質問を終わる。

一般質問の映像配信はこちらから



金利上昇局面での運用と活用を提案



さかい かつや 議員 酒井 勝也

行に定期預金による運用をしている。

問 インフレ経済に状況が変わってきている。普通預金や定期預金を中心に管理を継続すること、理由があるのか、金利上昇局面によって、短期国債等を活用した運用をすることは考えられるか。

現在、我が国は年率2〜3%程度のインフレ局面にある。現金をそのまま持っていれば安全ということとを意味する。現金毀損のリスクから町の財産を守り、効率的な運用によって将来の財源を確保することは喫緊の課題である。

【インフレに負けない運用】

問 財政調整基金等の現在の総額とその運用内容、現在の預金先や運用手法を伺う。

答 本町の財政調整基金は令和8年5月末現在で、13億7961万円。また、各種積立金の合計は72億605万円。

現在、運用手法については、町の指定金融機関や町内の農協、銀

【浄化センター再エネ設備導入】

問 内子町の浄化センター等の施設運営における電気代は大きな負担になっている。

浄化センター等の維持管理費について、エネルギー価格高騰が経営に与えている影響は。

答 昨今のエネルギー価格及び物価の高騰は、経営面及び予算執行面に影響を与えている。浄化センターの汚水処理過程において膨大な電力を消費するため、電気料金の単価上昇により、動力費が当初の想定を超えて大きく膨らむ要因となっている。

令和7年度の内子町浄化センターの処理場費の内、動力費の処理場費における割合は15%となっている。

令和6年度と7年度の比較を示すと、約5%上昇している状況。

問 太陽光パネル及び蓄電池の設置を提案する。この事業には外部資金が活用できる。自家消費を高めることは、将来の負担の軽減につながる、値上げを抑制すること

ができるのではないかな。

浄化センターへの再エネ設備の導入を検討すべきだと考える。

答 本年度、環境省の補助事業を活用し、調査を実施している。この調査では、施設の立地やハザードマップの指定状況、太陽光発電設備の導入規模や発電量の推計、電気料金削減効果やCO₂排出抑制効果の分析を行う。8月中をめどに中間報告が示される予定であり、その結果を踏まえ、導入についても検討したい。



太陽光パネルの設置を検討中

一般質問の映像配信はこちらから



防犯カメラで犯罪防止を



まつだ まつた 議員 松田 まつた

答 現在は公共施設に限られており、住民や自治会の要望による設置は行っていない。

問 個人で防犯カメラの設置を希望する方への補助はあるのか。

答 現在のところ、個人設置に対する補助は設定していない。

問 防犯カメラの犯罪抑止効果は、特に注目されるメリットの一つである。内子町が主体として設置している防犯カメラは何台か。

答 防犯カメラの設置台数は、本庁舎や分庁舎など12施設に合計60台のカメラを設置している。

問 防犯カメラへの認識は。

答 防犯対策として高い効果があるが、個人情報やプライバシーの十分な配慮が必要と考える。

問 自治会より、防犯カメラ設置希望があれば対応できるか。



【内子の一次産業について問う】

問 「第76回全国植樹祭えひめ2026」では、森林整備や木材利用への理解を深めることを目的と

しており、「森林を守り育てる取り組み」が大会で宣言された。

現在、内子町が進めている林業施策は、この植樹祭で謳われた趣旨にどのように合致し具体化されているのか。

答 補助金・財政支援を入口としつつも、それに終始することなく、持続的な林業経営と、森林の公益的機能の発揮に向けて中長期的な視点で施策を展開する。

問 個人林家が生活できる収入を得られる施策は。

答 現在、山の方で捨てられている未利用材が、1㎡あたり8000円位の単価で買い取られており、これらを有効活用してほしい。

運賃や人件費を考えると林家が生業として取り組めるレベルではないと考える。

町でできないことは、国を動かして検討いただきたい。

問 高齢化が進む農業だが、定年後の再雇用制度期間の対象者に農業従事者に特化した「地域おこし協力隊」並みの待遇を行うことで内子の農業の底上げができないか。

答 定年後に農業への参入を希望する方がいることを踏まえると、農業従事者の確保の観点から有効な手段の一つになり得るものである。農業に関心を持つ皆様が一步を踏み出しやすい環境づくりに努めていきたい。

問 繁忙期にしっかりと支援できる体制として『お手伝いシステム』を整備し、安心して農業に取り組める環境を構築すべきと考えるが。

答 JAの無料職業紹介所をはじめとした既存の取り組みが、農業者の皆様にとって有効に機能するように、情報提供や周知に努めながら、より使いやすい環境づくりに向けた手段を検討したい。

一般質問の映像配信はこちらから



ワクチンで防げる病気



くぼ よしひろ
久保 美博 議員

〔带状疱疹ワクチン接種〕

問 令和7年度の带状疱疹ワクチン接種者の人数は。

答 ワクチンの接種別に、1回接種の生ワクチンが56人、2回接種の組換えワクチン接種者が216人で合計272人。接種率21・6%である。

問 町独自で取り組んだ当初から自己負担金は変わっていないか。

答 国の定期接種になった令和7年度当初は、組換えワクチンの方で自己負担金1万6500円の設定であったが、医師会等と協議した結果、令和8年度より組換えワクチンで1万5000円の負担金と

なった。その関係もあり昨年度途中から本年度において差額の償還払いの案内をしている。

問 国の定期接種は、原則65歳の人と70歳から5歳刻みの年齢の人が対象となるが、例えば現在66歳の人は、70歳となる4年後まで接種を待つことになる。

66歳以上の町民を対象に助成事業を創設して定期接種の年度を待たずにワクチン接種ができるようにする考えはないか。

答 4年間待っている期間に発症してしまうリスクはあるが、国の制度にのっとり取り組んでいく。

〔RSウイルス感染症〕

問 RSウイルスの感染によって引き起こされる呼吸器感染症で、乳幼児の主要な原因ウイルスとされる。

予防医療として、肺炎球菌感染症、高齢者インフルエンザ、新型コロナウイルス、带状疱疹とともに、RSウイルス感染症について

も、町民への周知と感染予防への注意喚起を行ってはどうか。

答 高齢者は定期予防接種の対象外であり、感染原因として飛沫感染や接触感染が挙げられている。今後、他の感染症への注意喚起も含め、広報やホームページ等で周知に努める。

問 RSウイルスワクチンは、妊婦の接種により胎児へ免疫が移行し、出生後の乳幼児の重症化を予防する母子免疫ワクチンと、60歳以上の高齢者を対象とした重症化予防ワクチンの2種類が承認・実用化されている。

接種費用は高額であることから、生涯を通じて予防接種の推進は健康寿命の延伸につながると考えるが、町独自の助成制度を創設する考えはないか。

答 国の定期接種化の動向を注視していく。現段階では町独自の予防接種助成は考えていない。

納得できなくても理解してもらいうまで丁寧に



きど 城戸 まちる
議員

〔統廃合は仕方ないのかなー〕

問 学校等の再編計画はこれまでの答弁に沿っているか。

答 これまで答弁してきたとおり、今回の再編計画では、子どもにとってどうかを最優先の視点としている。

今後は、対象となる各学校の保護者、必要に応じ地域住民に対し、説明会や対話の場を開く。

問 近い将来の統合や、中学校の部活動を考慮し、一歩踏み込んだ統廃合という話は出なかったか。

答 教育改革懇談会でもそうした意見はあったが、リスクが多いことから、最終ではなく段階を踏ん

で再編を進めることとなった。

問 統廃合をした場合の通学に問題はなにか。

答 小学校1〜3年生が、30分以上通学バスに乗るのは負担が大きいとの意見を反映した。

問 大瀬小学校または小田小学校が単独校として存続することを希望する場合は、両校の統合を見送るという一文は削除したほうが良いのではないか。

答 この部分は最初の答申から変更した。パブリックコメントで、「小田小学校を単独で残してほしい」ともしくは「内子小学校と統合したい」といったものを反映させた。

問 両校が単独で存続を望んだ場合、個人的に内子小学校への通学を希望すれば認められるか。

答 校区外通学の制度はあるが、本件の理由はその対象に該当しないため、教育委員会として認めることはできない。

問 実施時期が令和10年3月末は、理解を得るのに短くないか。

答 これは再編計画であり、目標でもあるので、保護者や地域の方をお願いをしたい。

問 学校は地域のコミュニティの核として、防災、保育、地域の交流の場等の機能をあわせ持つ。

また、「防災拠点や児童生徒の放課後や週末の活動拠点、文化、スポーツの活動拠点、地域コミュニティの精神的支柱」と文部科学省の手引きに書いてある。統廃合後の施設の活用は。

答 再編計画に、廃校となる学校施設の具体的な活用方法は示していない。

地域住民にとって学校は、長年親しまれてきた象徴的な場所であると同時に、その跡地活用は地域

にとって極めて重要な課題であると認識している。

再編計画において、廃校となる学校施設や跡地の活用についても、他の活用事例を参考に、地域の大切な共有財産という視点を軸に、有効活用を考えていきたい。

教育委員会としては、先ほど述べたとおり、今後、再編計画に沿って該当する小・中学校で順次説明会を実施し、施設利用についても、ご意見を伺いながら関係機関と協議を行う。



統廃合をした御祓小学校 今はみそぎの里として活用



〔町内小中学校防犯カメラ設置〕

問 これから先、町として防犯カメラ設置についてどのように取り組んでいく考えか。

答 町内の学校1校で校内トラブルが発生したことを受け、保護者より早急な防犯カメラ設置要望があった。6月補正予算に計上し、町内の学校施設において防犯、不審者対策として設置に向けて計画的に取り組んでいく。

一般質問の映像配信はこちらから



一般質問の映像配信はこちらから



棚田百選に選ばれた泉谷の棚田はどうなる



しものやすひこ 安彦 議員

【泉谷の棚田の保全】

問 泉谷の棚田は百選選定から27年経ち後継者不足が課題だ。現在の保全状況や今後の町としての取り組みは。

答 泉谷の棚田は多角的な保全活動を展開してきたが、現在は小学校の体験学習のみ継続する。高齢化や「泉谷地区の棚田を守る会」の解散等で維持は極めて困難であり、景観変化も進む現状である。

問 かつて実施されていた棚田オーナー制度の中止時期と、廃止に至った具体的な要因は何か。

答 令和2年に「守る会」が解散しており、それ以前に無くなっているものと思われる。

問 静岡県富士市大淵笹場のよう
に、地域・行政・企業と協働して
景観を守れないか。

答 かつて活発だった活動も高齢化や解散で衰退したが、現在はシャクナゲの植栽が進む。今後は地域や行政、応援団が連携し、この貴重な景観を守る議論を進めていきたい。

【防犯カメラの設置は】

問 闇バイトや詐欺が多発する中、子どもの安心・安全を守るため、プライバシーに配慮しつつ死角のない場所を選んで、学校等の公共施設へ防犯カメラを設置する考えはあるか。

答 不審者対策として、プライバシーに配慮しつつ、学校等の公共施設へ優先順位の高い順に防犯カメラを設置していく。



急峻な棚田での作業は大変

問 研修で訪れた佐賀県上峰町の笑顔の歓迎や、五十崎小学校の元気な挨拶を踏まえ、笑顔のまちづくりの接遇マニュアルや学校での指導状況を問う。

答 全職員へ接遇マニュアルを周知し、各種研修で対応力向上に努めるが、苦情には真摯に対応する。学校では道徳の授業や児童生徒の委員会活動を通じ挨拶運動を展開している。

一般質問の映像配信は
こちらから



里山のくらしを守る飲用水や生活用水の現状



やまもと とある 徹 議員

【里山の水を守るには】

問 里山では小川や湧き水を利用する世帯で、水源の枯渇や濁りにより生活に支障が生じている。利用世帯数や水質検査の状況は。

答 上水道未普及世帯は約390世帯と推計している。湧水や井戸水の水質は利用者が管理しており、令和7年度の水質検査申請は7件あった。

問 湧水や井戸水を安心して利用するため、水質検査費用や町の補助制度はないか。

答 水質検査費用は11項目で約7900円。助成制度はないが、水質検査の周知・啓発を行い、公



個人で設置した水道施設

問 地域により設備は異なるが、飲用水設備の整備に対する町の支援はあるのか。

営水道への切り替えや基盤整備を進める。

問 水質検査費用への補助を検討できないか。

答 補助制度は設けていないが、衛生管理の重要性を周知するとともに、公営水道への接続を促し、安全な飲用水の確保を図る。

答 一定要件を満たす飲用水施設の新設・補修に、最大200万円を補助する。

問 湧水時に飲用水の確保が困難な高齢世帯等への支援体制は。

答 湧水時は水源地で無料給水を行う。運搬困難な高齢世帯への定期支援は未整備だが、地域と連携し必要な支援を検討する。

問 上水道への切り替えを希望する世帯への高額な負担に対する支援はあるか。

答 公営水道への切り替えは重要と認識。受益者負担金は、国庫補助事業は事業費の10%、町単独事業は20%とし、補助事業の活用により負担軽減を図る。

問 町民の飲用水の確保について、どのように考えているか。



安全で安心な水をすべての町民へ

里山でも安心して暮らせる水環境が整い、高齢になっても「内子町に住んでよかった」と実感できる日が来ることを願い、質問を終えた。

一般質問の映像配信は
こちらから



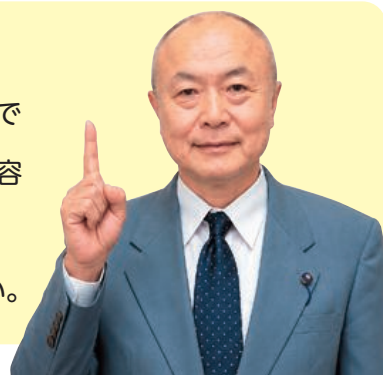
QRコードで 議会をもっと身近に！



みなさん、議会だよりをご覧ください。

紙面では限られた内容しか掲載できませんが、スマートフォンやタブレットでQRコード（二次元コード）を読み取ると、一般質問の動画など、より詳しい内容をご覧ください。

ぜひQRコードを活用して、議員の活動や町政への提案についてご覧ください。



QRコードの使い方（かんたん4ステップ！）

1 カメラを起動

スマートフォンのカメラアプリを起動します。



2 QRコードを画面に映す

QRコードをカメラに映るようかざします。



3 表示されたURL等をタップ

画面に表示されたURLやバナーをタップ（押す）します。



4 一般質問の動画が見られます

議会の一般質問の動画が再生されます。



こちらのQRコードから
一般質問の動画をご覧ください



こんなときは？



カメラを向けても反応しない

- ・QRコード全体が入るようにかざしてください。
- ・明るい場所でお試ください。



QRコードが読み取れない

- ・ピントが合っているか確認してください。
- ・ケースや汚れで読み取れないことがあります。



音が出ない

- ・スマートフォンの音量を確認してください。
- ・マナーモードになっていないか確認してください。

探検！発見！内子小学校3年生議場見学



念願の議長席！ 開始のブザーを鳴らす体験

7月6日、内子小学校の児童が内子町議会議事堂を見学に行ってきました。

はじめに、議会の役割について説明を受けました。議会は、学校でいう「学級委員会」のように、町民の代表である議員が集まり、町をより良くするために話し合う場で、議会が町のお金の使い方や町のルールを決める大切な役割を担っていることを学びました。

その後は、議場にある名札や時計、マイク、カメラなどを探す「議場探検」を実施。普段は見る機会の少ない議場を興味深く見学していました。

最後にはクイズが行われ、1位になった児童は議長席に座り、議長と一緒に記念撮影を行ったり、開始のブザーを鳴らす体験をしました。

子どもたちに楽しみながら、議会を身近に感じ、学んでもらうよい機会となりました。

今回の見学が、将来、議会やまちづくりに関心を持つきっかけとなることを期待しています。



議場を探検しながら、議会の仕組みを学びました。



議会広報の編集手法を学ぶ

令和8年5月20日から21日にかけて、福岡県大刀洗町議会および佐賀県上峰町議会を視察し、議会広報及び議会運営について研修を行った。

大刀洗町議会

全国広報コンクールで10年連続入賞する議会広報について視察した。住民に読まれる広報は、議会活動を分かりやすく伝えることが基本であり、一般質問で「検討する」とした事項を継続して検証・公表する取組などを学んだ。

今回の研修で、住民目線の広報や活発な議会運営の重要性を学んだ。今後の議会活動や議会広報に生かしていきたい。

訪問時には、正副議長や議会事務局職員の方々に横断幕で迎えていただき、庁舎内でも多くの職員から笑顔と拍手による歓迎を受けるなど、心温まるおもてなしに感謝を受けた。

「住民の声を届けることは議員の役割」との共通認識のもと、専門用語を避けた分かりやすい情報発信や、新人議員も自由に発言できる議会運営が印象的であった。



心のこもったおもてなしに感謝

上峰町議会

議会広報常任委員会研修報告

傍聴席から

内子を未来へつなぐ議会

新規採用職員として、内子町議会6月定例会一般質問を傍聴する機会をいただきました。議会傍聴は初めての経験でしたが、町政への理解を深めるとともに、行政職員としての役割について考える大変貴重な機会となりました。

議会では、学校の統廃合や棚田などの景観保全、水道インフラの整備など、生活に密接に関わる様々な課題について、現在の対応だけでなく、内子町の歴史や文化を守りながら将来につなげていく視点で活発な議論が行われていました。議員の皆様からは住民の立場に立った質問や提案がなされ、それに対して理事者の方々が現状や今後の方針について丁寧に説明されており、議会が町の課題について議論する重要な場であることを実感しました。

特に学校の統廃合については、児童生徒の教育環境の充実という観点と地域コミュニティの維持とい

住民課 山本 芽生



う観点の双方から慎重に検討する必要があり、その難しさを改めて認識しました。また、人口減少や少子高齢化が進む中で、地域の文化や産業をどのように守り、次世代へ引き継いでいくかという重要な課題についても考えさせられました。

今回の傍聴を通じて、行政が住民生活と密接に関わっていることを改めて実感するとともに、地域の皆さんの声に耳を傾け、その声を行政運営に反映していくことの重要性を学びました。私も住民課職員として日々の業務を通じて地域への理解を深めながら、町民の皆さんが安心して暮らせるまちづくりに貢献できる職員を目指していきたいと思います。

5月

8日	議会運営委員会
15日	全員協議会
17日	第76回全国植樹祭えひめ2026
19日	行政視察受入れ(北海道上富良野町議会)
20日～21日	議会広報常任委員会行政視察研修(福岡県大刀洗町、佐賀県上峰町)
25日	議会運営委員会
26日	町村議会議長・副議長研修会(東京)〈議長・副議長〉

6月

3日～16日	内子町議会6月定例会
3日	議会広報常任委員会
8日	総務文教常任委員会、産業建設厚生常任委員会
9日	予算決算常任委員会、全員協議会、議会運営委員会
19日	議会改革特別委員会
25日～30日	内子町・ローテンプルク市姉妹都市盟約締結15周年記念事業 ローテンプルク市への派遣団参加(ドイツ)〈議長〉
30日	議会広報常任委員会

議会の 主な活動

7月

6日	内子小学校議場見学
7日～8日	愛媛県町村議会議長会第2回全員協議会(上島町)〈議長〉
13日	議会広報常任委員会 行政視察受入れ(滋賀県高島市)
17日	全員協議会
28日～29日	総務文教常任委員会行政視察研修(茨城県阿見町、五霞町)
30日	産業建設厚生常任委員会視察研修



植菌後、並べられた椎茸の原木

問 農業の後継者となるきっかけについてお聞かせください。

今回の調査は、小田地区・本川の大塚一郎氏(63歳)へのインタビューを質問形式で紹介します。

※問 は委員による質問、**答** は大塚氏の回答を表します。

～未来へつなぐ農業への挑戦～ 大塚農園の取り組み

編集委員の調査・レポート
(西口 邦彦委員)

答 高校卒業後、家業の原木椎茸の技術を学ぶため、鳥取県「日本菌茸専門学校」に入学。2年間学び椎茸指導員取得後、大分地方で9年間勤務し、高度な技術を習得。古里・内子へUターンし、後継者として家業を継承しました。

問 9年間の指導員時に家業は原木椎茸を生産していましたか。

答 原木椎茸を生産していましたが、中国産の進出により価格が暴落し、赤字経営となりました。そこで両親は高原トマトへ切り替え、ビニールハウス23棟を建設。品種「桃太郎」を栽培し、農業経営の基盤を築きました。

その頃、両親の高齢化と人手不足が重なり、良い機会と思い、一家でUターン。帰省後は原木椎茸とトマトの生産に奮闘しました。

問 米生産を始めた理由をお聞きます。

答 私が帰省した頃は、田園の圃場整備が進み、生産者も若く活気のある地域でした。



青々と育つ水田

しかし、年々高齢化と後継者不足で荒れた農地が増え、このままでは地域が荒廃してしまうという危機感が、耕作面積を広げるきっかけとなりました。その後、毎年耕作面積を拡大し、現在の規模になりました。

問 現在の経営状況と今後は。

答 現在の経営は、椎茸原木4000本・トマト4300本・米8haを家族で経営しています。高齢者を含む数人を雇用し、私は原木椎茸と水稲、妻と娘はト



親子で育てた、自慢のトマト

マトの収穫を担当しています。トマトは収穫期ですが、カラスやハクビシンなどの害獣との戦いに四苦八苦しています。釣り用テグスや網で対策しているものの侵入され、実の損傷被害が続いています。

今後の農業経営は、自身の高齢化も見据え、現状の規模を維持したいと考えています。一方で地域の高齢化や耕作放棄地の増加を懸念しており、人材確保ができれば規模拡大も検討したいです。

ご協力いただいた大塚農園の皆様、ありがとうございました。今後のご活躍を願っています。

実りを支える家族の絆

みやおか あきら
宮岡 章さんご一家

表紙の写真は、石畳東地区の宮岡さん一家が栽培中のキュウリ園の前で勢ぞろい。今では珍しい4世代同居の大家族です。

宮岡さんは、肱川流域で盛んに栽培されている夏秋キュウリ(夏から秋にかけて路地栽培)を育てています。

内子町は愛媛県内でも屈指の産地で、宮岡さんは5アールの園地で栽培されています。

ご主人の章さんは「キュウリは繊細な植物で、虫の害・病気・水管理に細心の注意を払っています。雨が続きと病気になりやすい晴天が続くと灌水と、天候に非常に気を付けています」と管理の行き届いたキュウリ園で説明をしていただきました。

和気あいあいとにぎやかな大家族。お孫さんに囲まれて妻の久美香さんと共に家族の中心として頑張っておられます。



キュウリの手入れを行う宮岡さん

【議会だより】町民のみなさんより貴重なご意見が届いています。

一般質問では、空き家や耕作放棄地の景観対策が取り上げられたが、町の答弁は所有者や地域への普及啓発にとどまった。放置が増えている現状を踏まえ、より踏み込んだ議論や具体的な対策を示してほしいと感じた。



(60代 男性)

人口減少・高齢化により空き家や放置された田畑が点在し、一部では住民が私有地の草刈・雑木伐採等の対策を行っている地域がありますが、内子町全体で抱えている大きな課題となっています。

早急に対策方法の検討を進めてまいります。

町民の方からの質問に答える特集が印象に残りました。町民と議会の距離が近く感じられ、議会への親しみにつながると感じました。また、傍聴した方の声を掲載することで、議会への関心を高める工夫だと感じました。



(20代 女性)

モニター様や町民の方々の意見や感想を通じて、本誌が議会を身近に感じるきっかけとなったことは大変励みになります。

これからも町民の皆様に関心へのより深めていただきながら、さらに親しみやすく、分かりやすい誌面作りに努めてまいります。この度は貴重なご感想をありがとうございました。

募集中

「議会」・「議会だよりうちこ」にご意見をお寄せください。また、「議会だよりうちこ」に掲載する季節行事や風景などの写真も募集しています。右記アドレスへ送付してください。

ご利用ください!

【QRコード】

内子町ホームページ「議会事務局」へつながります。



議長のスケジュールと交際費を掲載中!



議会事務局メールアドレス
gikaijimukyoku@town.uchiko.ehime.jp

編集後記

今議会で議会改革特別委員会が設置され、同日選挙など身近な提案が進められます。より町民の声を反映した開かれた議会を目指しますので、ご意見をお寄せください。

酷暑が続く予報です。皆様、こまめな水分補給を心がけ、どうかご自愛ください。

(酒井 勝也)

【議会広報常任委員会】

委員長/下野 安彦
副委員長/西口 邦彦
委員/向井 一富
委員/城戸 司
委員/松田 修
委員/酒井 勝也

次の定例会は 9月2日(水)開会予定です。